

こうとう民報

2022年 9月号 No210

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ http://www.koto-minpo.jp/

国葬反対! 江東区は弔意を強制するな!



江東市民連合らが区役所前で宣伝

区役所前で国葬反対をアピール!

江東市民連合は「安倍晋三元首相の『国葬』の撤回」を求める声明を8月4日に政府に送って以降、「国葬反対」行動を展開しています。

安倍晋三元首相の国葬の9月27日を前に、江東市民連合は9月2日、江東区、江東区議会などに「弔意強制を行わない」よう文書で申し入れ、4日の日曜日は13人が参加して、戦前戦後の総理大臣の国葬や自民党葬、内閣・衆議院合同葬などの一覧表も配布しながら、「賛成」「わからない」「反対」のシール投票。66人の投票者のうち「反対」は8割を超える54人でした。14日のお昼には区役所前で「国葬反対」アピールを行い、



豊洲ららぽーと前でシール投票

原水禁大会報告会

2022年原水爆禁止世界大会が8月4日から6日まで広島市で開催され、江東区の原水協から5人の代表団が参加。その「報告会」が8月28日、民青江東地区委員会主催で開催され、20歳代を含む代表3人からの感想や報告の後、交流が行われました。

「核兵器廃絶すすめたい」放射能の悲惨さに衝撃

Aさんは、3日間の状況を報告し、「戦争は悲惨であることを強く認識するとともに、平和の大切さを実感しました。ことを強く認識するとともに、平和の大切さを実感しました。



区役所前で

用意した「国葬反対アイツシユ」を手渡すと「がんばって」「国葬反対」の声も寄せられました。

議会報告

日本共産党江東区議団は、9月7日に教育長、8日に区長に対し、安倍元首相「国葬」に関する申し入れを行いました。

政府が9月27日に実施するとしている安倍元首相の「国葬」は憲法14条「法の下の平等」、19条の「思想・良心の自由」に反するものです。そもそも「国葬令」は日本国憲法のもとで失効して

おり、「国葬」を行うことも、その経費を国費で賄うことも、法的根拠がありません。安倍氏については、政治

甲旗の掲揚、黙とうの呼びかけやめよ

共産党区議団

「国葬」問題で区長に申し入れ

的立場や政治姿勢への国民の評価は大きく分かれており、この間マスコミ各社が行った世論調査でも国民の多数が「国葬」に反対しています。

御配慮」を求める事務連絡を出したことは、不適切であったと言わざるを得ません。また、教育施設等で特定の政治家に対する甲旗掲揚や黙祷の呼びかけを行う

ことは、教育の政治的中立性を損なうものです。区議団は教育長に対し、学校をはじめ、教育委員会所管の施設での甲旗掲揚、黙祷の呼びかけを行わないよう強く要望。区長に対しても庁舎や区施設での甲旗掲揚や職員及び来庁者に対する黙祷の呼びかけを行わないよう求めました。



参加者は、青年ら3人の報告に何度もうなずく人が目立ち、核兵器廃絶や平和への願いを共有できた素晴らしい報告会でした。

内閣府設置法の規定を引用し、最高法規の憲法14条・19条違反の国葬を閣議決定で強行する理不尽な説明をしました。国葬反対の世論は56%に達しました。折しも、70年在任のエリザベス女王の国葬は、国会の議決で決定します▼11日、沖縄県知事選では、玉城デニー知事は岸田政権が財界と共に全力で支援した佐喜真候補に6万5千票の差をつけて勝利。辺野古米軍基地建設反対の民意の4連勝。加えて市町村議選で共産党18人全員当選で、岸田内閣に重大な打撃を与えました。

潮騒

中秋の名月と台風の季節。沖縄の島々には猛烈な台風が次々と襲来し、地球温暖化対策は待ったなし

草の根からの平和運動をすすめていきたい。Bさんは、被爆1か月後に亡くなった「放射能症の不可逆的経過」の写真など、大会会場での写真や資料を、自分で撮ってきた資料を紹介。さらに、「放射能の被害がこんなにひどいものかという、めったに見られない写真を見たとき強い衝撃を受け、絶対になくすべきだと感じました」と発言しました。Cさんは、大会で印象的だった発言を紹介しながら、「現地で見て聞かなければ得られない貴重な体験をしました。被爆者の実体験を聞いた、各地で活動されている皆さんの思いを聞き、涙が出ました」そして「日本でも核兵器廃絶の国民の声を大きくしていかなければならない」と強く感じ、それはできるといふ希望が持てました」と強調しました。

関係アンケートの結果を発表。関係者を認めた179人の中で、特に密接な接点のあった121人の氏名を公表して、今後は一切関係を持たないと述べました。この報告には、親子3代にわたって関係した安倍氏や、統一協会の名称変更にかかわっていた細田衆院議長らが除かれていました▼「安倍氏国葬」が国会で審査されたこの日、岸田首相は戦前の失効した国葬令に代わって、内閣府設置法の規定を引用し、最高法規の憲法14条・19条違反の国葬を閣議決定で強行する理不尽な説明をしました。国葬反対の世論は56%に達しました。折しも、70年在任のエリザベス女王の国葬は、国会の議決で決定します▼11日、沖縄県知事選では、玉城デニー知事は岸田政権が財界と共に全力で支援した佐喜真候補に6万5千票の差をつけて勝利。辺野古米軍基地建設反対の民意の4連勝。加えて市町村議選で共産党18人全員当選で、岸田内閣に重大な打撃を与えました。

江東オンラインズマンの会 第22回総会

行政や議会の税金無駄使いを監視中

発足以来22年、行政や議会などを監視する「江東区民オンラインズマンの会」は9月10日に総会を開き、1年間の活動を振り返って課題を整理し、ニュースの宣伝活動の強化や、区議会の「政務活動費」の収支報告は改善されたものの、依然として散見される与党の無駄使いや、数年前から増えている「プロポーザル契約」をしっかりとチェックしていくことなどの活動方針を確認しました。

「区民は見てるぞー」と意識させたい

代表幹事の正木毅氏は、会が22年（議員1人当たり月額20万円にわたり区政・区議会各派の違法・不当な税金の使い道をチェックし、住民監査請求もしながら改善を求めてきた足取りと成果を示しました。

活動が反映して、区長と議長の交際費は大幅に改善され、各会派の政務活動費（議員1人当たり月額20万円）の支出も改善がみられるものの領収書添付の後払いは実現しておらず、さらに議会にできた「政務活動費のあり方検討会」が非公開であるため、「発言記録なども公開させていきたい」と強調しました。

区行政の新たな契約手法になってきた「プロポーザル契約」は、競争入札が基



亀戸事件99周年追悼会 虐殺事件を風化させず

9月7日、亀戸梅屋敷（亀戸4丁目）で亀戸事件99周年の追悼会が行われました。

関東大震災（1923年9月1日）発生時、被災者を救済していた日本共産青年同盟初代委

員長の川合義虎と居合わせた労働者の山岸実司、近藤広造ら10人が警察と軍隊によって亀戸警察に連行され虐殺されました。

追悼会では、榎本喜久治副実行委員長が「10人の労働者の追悼と意志を受け継ぐことで、私たちの立場と意思を伝えてきた。世の中を愛していく思いで頑張つて生きたい」と開会の挨拶。

日本国民救援会東京都本部の藤田力事務局長は、経

過報告で「亀戸事件は大震災を口実にした戒厳令下で発生。行政権と裁判権を軍が掌握し、抵抗するものを虐殺しても責任は問われない。基本的人権を停止する法律がいかにか危険かを示している」と語りました。

日本共産党のあぜ上三和子都議会議員が「虐殺事件を風化させず先達の不屈生と先見性に学び、国民とともに憲法9条を生かす日本を実現していきたい」と挨拶。

日本民主青年同盟中央委員会員の佐久間常任委員が川合義虎の言葉「未来は青年のものである。青年が動くときすでに勝利の光があり、今を生きる私たちが励ましている」というメッセージを読み上げました。

追悼会後に参加者は、会場近くの浄心寺にある事件の追悼碑に献花しました。



- ◆ 9月27日（火）14時、**「国難」反対集会**（国会正門前）
- ◆ 10月22日（土）又は 23日（日）**江東市民連合5周年記念集会**（詳細は後日お知らせ）
- ◆ 10月11日（火）19時、**インボイス制度 学習会**（江東区産業センター2階）
- ◆ 10月8日（土）14時30分、**食糧支援フードバンク**（江東区産業センター3F）
- ◆ 10月6日（木）18時30分、**「区政改革のゆくえ」集会**（江東市民連合）
- ◆ 10月2日（日）**定例街頭宣伝**（江東市民連合）

吉川さんの話の要旨は、明治維新による天皇主権の大日本帝国憲法下で、軍部が政権を乗っ取り、アジア諸国への侵略と植民地化した事実と、戦後の占領軍による民主化政

本であることを回避しており「危険な匂いが漂う」と注意を喚起しました。

さらに、区議の「視察」に名を借りた「団体旅行」も引き続き問題にしていく必要があると指摘しました。

軍事的緊張を高める道か、戦争予防の道か

「9条を変えている場合ではない」

戦争法の廃止を求める砂町の会は9月11日、「改憲・暮らし圧迫の大軍拡と日米同盟」をテーマに、フリーランスジャーナリストの布施祐仁氏を招いて講演会を開催しました。会場の南砂区民館には36人が参加しました。



「砂町の会」が講演会

講師の布施祐仁氏（写真）は冒頭に、日本政府が南西諸島防衛力強化と「軍事費2倍化」を推進していることは「まさに大軍拡です。12（ヒト二）式地对艦ミサイルという兵器を開発中で、実は敵

基地攻撃能力の保有は始まっています」と強調しました。

その一方、米国の動向について、「自国の軍事的優位性確保のため、2023年以降中国本土の基地等を攻撃できる中距離ミサイル（極超音速滑空ミサイル）を日本（全土が対象）やフィリピンに配備しようと計画しています」と、あまり知られていない動きを紹介しました。

そして、「これが日本を守る抑止力なんでしょうか？」と問いかけ、「当然、中国は対抗措置をとり、際限ない軍拡競争となるでしょう」「軍事費の増大は国家財政や国民生活を壊します」と、危険な行く末に警鐘を鳴らしました。

布施氏は続けて、日本が今やるべきなのは「戦争を予防する外交」であり、こ

れをすでに実行しているのがASEAN（東南アジア諸国連合）であることを示し、「対話によって紛争を予防することを目的とする『ASEAN地域フォーラム』が機能しています」と紹介。

最後に布施氏は、日本がアメリカと一体となって中

国との軍事的緊張を高めるか、平和憲法を活かし、ASEANと力を合わせて外交によって米中戦争を予防する方向に進むのか、と選択すべき道を示し、「いま、日本は9条を変えている場合ではない」と締めくくりました。

新婦人の会江東支部 平和フェスタ 開催

コロナ禍が心配される8月28日（日）の午後、新婦人の会江東支部は東陽区民館ホールで「平和フェスタ」を開催。約50人が参加しました。

集会の主な内容は、改憲 阻止のビデオ視聴と新婦人 創立当時の体験談、「戦前、戦後の憲法」と題する元教師の吉川晃さんのお話でした。

策と国民主権の日本国憲法制定を、年表によって説明しました。特に9条をめぐる当時の国会論議を紹介し

- ★ 行事日程 ★
- ◆ 10月2日（日）**定例街頭宣伝**（江東市民連合）
- ◆ 10月6日（木）18時30分、**「区政改革のゆくえ」集会**（江東市民連合）
- ◆ 10月8日（土）14時30分、**食糧支援フードバンク**（江東区産業センター3F）
- ◆ 10月11日（火）19時、**インボイス制度 学習会**（江東区産業センター2階）
- ◆ 10月22日（土）又は 23日（日）**江東市民連合5周年記念集会**（詳細は後日お知らせ）
- ◆ 9月27日（火）14時、**「国難」反対集会**（国会正門前）